

実践例 小山市立乙女中学校

教科・科目等 社会科・公民的分野（3学年）

本時の目標

現代社会の男女の平等について科学的に考察し、性別問わず自分らしく生きるためにどのようなことが大切か判断し、表現することができる。

育てたい資質・能力等

男女の権利がそれぞれ守られ、自分らしく生きるためにはどのようなことが大切であり、必要か考える。（判断力）

教材 「人権の窓」（男女共同参画編）レガシー版（中学生用）、人権作文

展開

- 級友の人権作文を黙読する。
- 現代社会の男女の差を考え、男女雇用機会均等法及び男女共同参画社会基本法について、教科書やワークシートを使って学習する。
- 「人権の窓」（男女共同参画編）を活用し、ジェンダー平等や日本のジェンダーギャップ指数などを理解する。
- 性別を問わず「自分らしく」生きるためにはどのようなことが必要か考え、話し合う。



↑活動の様子



図表で 差別をなくすための取り組みが分かる！

1. 男女平等を目指して

資料1 女性の労働参加率の推移
資料2 男女の労働参加率

問 資料1より、なぜ日本の折れ線グラフはM字曲線になっているのだろうか？

⇒男女の住差があっても、普通に働きたい
男性と同じ条件で働きたいという女性はいまし、「生まれ」の差別は人権侵害
＜ 1985年、女性が就職や待遇で差別を受けることがないよう、雇用での男女平等の実現を目的として制定された。＞
＜ 1999年、あらゆる社会活動に男女が同じ立場で参加し、利益と責任をもとにわちあつ社会をつくるために制定された。＞

2. 性の多様性への理解
性の多様性(LGBTなど)に配慮する動き 同性パートナーシップを認める制度など

↓生徒の意見

・性別によるイメージ、偏見を持たない。
 ○自分の考えを述べる勇氣
 ○周りの目を気にしない
 ○声を上げる、個性、能力を尊重する。
 「おかしい」と感じる

・「偏見」を持たないこと
 ・自分らしさを貫く
 ・男女における差があるという事実を知っておくこと

・少しでもおかしいと思ったら自ら声を上げること
 ・性別が違うからという理由で差別されるのではなく、個人の能力や個性を大切にすること。
 ・自分と異なる考えの人について、「否定」するのではなく「尊重」する。「偏見」をなくすこと。

・男女関係ないに自分の意見を言う。
 ・授業などでこのような内容(人権やLGBT)について勉強することがあるから平等な世界をつくること。
 ・偏見をなくす
 ・人の目を気にしない
 ・仕事は個性、能力を大切